

令和3年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例



佐世保市立日宇中学校

所在地 佐世保市日宇町2181番地
校長名 中野 一史
生徒数 1学年189名、2学年199名、3学年191名
全校 579名（19学級 うち特別支援4学級）
校訓 「自主・努力・敬愛・健康」



1 日宇中学校の「特色ある学校づくり」について

本校の教育目標で「特色ある学校づくり」のテーマでもある「豊かな心を持ち、進んで学び、健やかでたくましく行動する生徒の育成」の実現に向けて、次の視点で特色ある学校づくりを進めています。

- (1) 学ぶ楽しさを「自ら学ぶ力」につなげ、目標を立てて学習に取り組む学校
- (2) 子どもたちの「笑顔」・「いのち」が輝く学校
- (3) 読書に親しむ学校
- (4) 地域とともにある学校

2 実践内容・成果

(1) 学ぶ楽しさを「自ら学ぶ力」につなげ、目標を立てて学習に取り組む学校

①学力向上の取組

学力調査の結果・分析をもとに、各教科こだわりの取組を設定し、基礎・基本を中心に学力の向上を図り、12月にリベンジテストを実施してその成果を見ることができました。また、3月には次年度の学力調査に向けて、1・2年生を対象にチャレンジテストを実施しました。今年度は、一人一台端末の導入で、授業や家庭学習にも活用して基礎学力の定着に努めました。



②体力の向上の取組

5月下旬から6月上旬にかけて実施した新体力テストの結果・分析をもとに保健体育科の授業を中心に課題が残る種目の記録向上を図り、12月に再度記録をとって成果を見ることができました。また、部活動でも体力・技能の向上を意識して取り組み、佐世保市中学校体育大会では、11競技125名の生徒が県大会に出場し、5競技が九州大会への出場を果たしました。



(2) 子どもたちの「笑顔」・「いのち」が輝く学校

① 体育大会のパネル制作・グラウンドフェンスへの掲示

コロナ禍であっても、生徒たちのがんばっている姿を保護者、地域住民にアピールする1つとして美術部による龍をモチーフとしたパネルを制作し、大会後もグラウンドフェンスに掲示しました。学校を訪れた人たちに、勇気と希望を与えてくれたと思っています。



② 外部講師等による講演会・演奏会の実施

外部講師等をお招きしての講演会は当初の計画通りとはいかず、リモート開催が多くなりました。どうすれば実施できるかを考え、感染予防対策を考えながらできる範囲で学習の場を設けました。「命」、「情報モラル」などの本物に触れる機会は、実感を伴う理解や経験となり、生徒たちの心に深く響いたことと思います。

6/21(月)「学力アップ・体力アップにつながる栄養講話」

学校栄養職員 井石理佳 先生 桃野歩乃佳 先生
(1年生対象)

「バランスのよい朝ごはん」、「学力・体力アップのための食事」、「給食のパワー」について学びました。



6/22(火)「生き方発見～困難を乗り越えて」

長崎短期大学教授 中野明人 先生
九州文化学園高等学校教諭 前川希帆 先生
長崎県立佐世保東翔高等学校教諭 中村明夫 先生
(3年生・保護者対象)

前川先生は、高校時代に交通事故で夢を絶たれようとしたとき、吹奏楽部顧問であった中村先生からの教えや励ましを糧にして、リハビリに専念しました。そして、今、中村先生と同じ教師として教壇に立っています。両先生から「これから先苦しいことは必ず訪れる。そんな時は、自分たちを思い出し、乗り越えてほしい」と熱いメッセージを届けていただきました。



6/24(木)情報モラル講座

「スマホ・ネット・ゲームを考えよう～今日の自分を守るために～」
長崎県メディア安全指導員 大町俊介 氏
(2年生・保護者対象)

ネット依存、心身への影響、ネットトラブル等、気をつけてほしい内容とともに、情報の偏りなど利用時に注意すべき内容などを丁寧に説明していただきました。



7/8(木)「輝くいのち、大切なあなたへ」

長崎県看護協会看護師 山口沙織 氏

(3年生・保護者対象)

「命の現場から伝えられることを」として「二次性徴」「妊娠」「恋する心を考える」「性感染症」等について説明をしていただきました。後半は各学級の代表者に赤ちゃんの人形を実際に抱えたり、妊婦の疑似体験をしたりすることで「命の大切さ」「相手を思いやる大切さ」について実感を持つことができました。



11/30(火)薬物乱用防止教室

佐世保警察署スクールサポーター 高田明夫 氏

(3年生・保護者対象)

危険ドラッグ等の身体への影響や薬物依存などについて、わかりやすく説明をいただきました。



1/12(水)「心の健康のための教育出前授業」

絵本作家:夢ら丘実果 氏 吉澤誠 氏

A&Live 代表取締役 高田明 氏

(1年生対象)

絵本「カーくんと森の仲間たち」の読み聞かせを通して自分の良さを見つける大切さ、仲間を思う大切さを伝えていただくとともに、人生は自分との勝負であること、自分を磨き続けることが成功へとつながることなど熱いメッセージをいただきました。



(3) 読書に親しむ学校

学校司書を中心に「本は心の栄養、図書室は心のオアシス」として、図書室の環境整備に取り組んでいます。

「読むこと」は「すべての学習の基礎」となるため、今年度は、図書室の貸出冊数生徒一人平均 10 冊以上を目標に、生徒会図書委員会と連携し、読書活動の推進を図りました。図書イベントや多読者表彰等の工夫の結果、昨年度の貸出冊数 6,972 冊、一人当たり 12.0 冊に対し、今年度は2月10日現在で、貸出冊数 8,411 冊、一人当たり 14.5 冊と本に親しむ生徒が増えました。

学校司書による多読賞表彰式や図書イベントが、貸出冊数を増やす要因になっています。



(4) 地域とともにある学校

①地域清掃

開かれた学校づくり事業で計画していた「日宇川清掃（日宇川水すまし会の協力を得ての学習会と日宇川の清掃活動）」はコロナ禍のために中止せざるをえませんでした。そこで、2年生が学校周辺の清掃活動に取り組みました。



②どんど焼き

PTAと日宇地区自治協議会（青少年健全育成会）の共催で、どんど焼きを行いました。燃える火の前で、生徒や保護者、教職員が今年の抱負を述べ、久しぶりに元気が出る取組ができました。



③学校ホームページでの積極的発信

コロナ禍で保護者や地域の皆様に来校していただく機会が少なくなっていました。特色ある教育活動の様子を「日宇中学校ホームページ」で積極的に発信しました。4月から2月末までのアクセスは146,049件で、月平均は12,100件になりました。ほぼ毎日400件近いアクセスがあったこととなります。本校の教育活動へのご理解・ご支援、本当にありがとうございました。

④来校者を感謝の気持ちで迎える取組

学校管理員が中心となつての学校園やプランターでの花栽培により、いつも環境が整い、生徒たちの環境美化への意識がおおいに高まってきました。

来校者を感謝の気持ちで迎えるために、正面玄関ののぼり「ようこそ日宇中学校」「校訓 校訓 自主・努力・敬愛・健康」を新調しました。

本校の教育活動に対するPTAや地域からの理解・支援体制は大変心強く、日宇地区には、地域ぐるみで子どもたちを育てていこうとする風土があります。今後も、保護者や地域とのつながりを大切にし、「地域とともに」特色や魅力のある学校づくりを推進していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。